

ペットボトルで愛の光

来月 稲沢でイルミネーション

稲沢青年会議所や市、稲沢商工会議所などが協力し、二月五日から十八日まで稲沢市長東町沼の文化の丘公園（稲沢市民病院北側）で、「愛」をテーマにしたイルミネーションを点灯する。

「光でにぎわいを創出し、街をPRしよう」と企画。イルミネーション用に、市内の工場で発光ダイオード



LEDライトを入れた「ペットボトル」
いずれも稲沢市内で（実行委員会提供）

（LED）を生産するみ電飾装置千七百二十自動車部品メーカー豊 個を寄贈した。田合成が、市名にちな 電飾装置はペットボ

トルの中に太陽光パネルと電池、LEDライトを入れ、ボトルのよぶシエにつながる道沿いに配置する。

ペットボトルの表面に参加者のメッセージを付け、行事終了後、尾張大國霊神社（国府宮）に奉納する。

点灯行事を前に、稲沢市国府宮の市総合文化センターで十五日、市民ボランティア約六十人が電飾の準備。ボランティアが、地面に突き刺せるように組み立てた。



「ペットボトル」を組み立てたボランティアたち

事務局の林隆生さん（@）は「地元の企業や市民が協力し、手作りのイルミネーションでバレンタイン週を楽しくもえたら」と話している。

二月五日午後五時すぎから点灯式が開かれる。

実行委員会事務局（稲沢商工会議所内）
0587（81）5000
（花井康子）